みやぎ県議会だより

平成29年
11月定例会特集
第124号

編集・発行　宮城県議会広報委員会
TEL 022(211)3592
〒980-8570　仙台市青葉区本町３丁目８番１号

議決した議案等

発　議＜1件＞
○県議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例

決　議＜1件＞
○2025年国際博覧会の大阪・関西への誘致に関する決議

意見書＜4件＞
○卸売市場法の見直しを丁寧に行うことを求める意見書
○介護福祉施策の充実を求める意見書
○参議院議員選挙制度改革に関する意見書
○森林環境税（仮称）の早期創設を求める意見書

可決・同意した知事提出議案＜55件＞
○平成29年度宮城県一般会計補正予算
○核燃料税条例
○国民健康保険法に基づく国民健康保険保険給付費等交付金の交付に関する条例
○自然環境保全条例等の一部を改正する条例
○通訳案内士法施行条例の一部を改正する条例
○飲食店等営業に係る不当な勧誘、料金の取立て等の防止に関する条例の一部を改正する条例　ほか

採択した請願＜3件＞
○「農業競争力強化プログラム」に基づく卸売市場法の抜本的な見直しについて、政府及び国会に再考を促す意見書の提出を求めることについて
○私学助成増額について
○私立高等学校等への助成強化に関することについて

※議案等に対する各議員の表決状況については、県議会ホームページに掲載しているほか、議会図書室で閲覧できます。

11月定例会の本会議

災害公営住宅
負担増の不安 払拭を
家賃低減、補助延長求める

第362回宮城県議会（11月定例会）は、平成29年11月24日から12月14日まで21日間の会期で開かれた。10月の知事選後、初めての定例会となった。3223億8100万円を追加する29年度一般会計補正予算案など59件を原案通り可決。辞任した長谷川洋一前副議長の後任に只野九十九議員を選出した。一般質問では、東日本大震災の被災者支援や東京電力福島第一原発事故に伴う放射性物質に汚染された廃棄物の処理、産業振興などを巡り、活発に質疑が交わされた。

東日本大震災の災害公営住宅で30年度以降、低所得者を対象とした国の家賃補助が段階的に縮小されることについて、議員からは「年金受給者も多く、負担増に不安を感じている。安心して継続入居できるようにしてほしい。延長に向けた取り組みはどうか」と質問があった。

土木部長は「延長について国に要望を行っている。国からは『（延長は）厳しい』との見解が示されている」と現状を説明。「市町との意見交換などを続け、新たに家賃低減を検討する市町に対しては、制度設計について必要な支援を行っていく」とした。

震災被災者に市町村が融資した災害援護資金の返済への対応を求める声もあった。議員は「市町村に相談窓口を設け、返済が厳しい人に早期相談を働き掛けるべきではないか」と指摘。さらに「阪神大震災の被災自治体では、少額償還を認め、返済期限を越えても延滞金を課さなかった」として同様の措置を求めた。

相談窓口について保健福祉部長は「各市町村で日常的に個別に対応している。早期相談の周知について助言していく」と答弁。少額償還については「市町村担当者会議において市町村の判断で実施可能であることを示している」と述べた。

在宅被災者について議員は「支援が行き届いていない。県震災復興計画は来年度、発展期に入る。知事の決意はどうか」と質問。知事は「震災から7年近くが経過し、高齢化や介護の問題など被災者が抱える課題は多様化している。被災者の声に耳を傾け、被災市町と連携して全力で取り組む」と力を込めた。

国基準超の指定廃棄物
知事方針変更 真意をただす

東京電力福島第一原発事故で発生した国の基準（1㌔当たり8000㍍）を超える指定廃棄物を巡っては国の処分場整備計画の変更を国に提案する意向を示した知事の真意をただした。

議員は「知事は従来、『指定廃棄物の処理は国が決めたことで、県は方針を変更できない』と繰り返してきたが、（10月の）知事選第一声で方針転換する発言をした。なぜ変わったのか」と質問した。

知事は「指定廃棄物の処理は国の責任で行うもの。（発言は）あくまで私個人の考え方として述べたもの」と説明。「基準以下の農林業系廃棄物の処理にめどがつくころには、長期間保管し続けなければならない指定廃棄物の量も減り、最終処分場を造らないという選択肢も出てくるのではないかということをお話しした」と答弁した。

議員は「1㌔当たり8000㍍以下の農林業系廃棄物処理の現状はどうか」と質問。知事は「年内の試験焼却開始を目指したが、市町村の準備状況などを踏まえ、年明けのなるべく早い時期に開始できるよう調整を図っている」と答えた。

オルレ、DMOでインバウンド誘致
欧米富裕層も照準に

訪日外国人旅行者（インバウンド）の誘致に向け、県が本年度末までに設置を予定する仙台空港や松島周辺の6市3町での観光地域づくり推進法人（日本版DMO）について、議員は「ソフト・ハード両面での環境整備、関係市町への対応はどうか」などと質問。経済商工観光部長は「アクセス表示の徹底と滞在日数増加への取り組みを優先させる。地域観光商品の造成など、DMOが活躍することで地域が稼げる仕組み作りに取り組む」と答えた。

気仙沼市唐桑など、県内3カ所でコース整備が進む韓国版トレッキングコース「オルレ」にも質問が相次いだ。議員は「コースを県内各地に広げられないか。整備や管理運営面への民間参画の仕組みも必要ではないか」などと提案した。

コース開設について知事は「市町村に先行事例を示し、意欲を確認しながら、新たなコース設定に取り組みたい」と述べた。民間参画には経済商工観光部長が「韓国で先例がある。機運醸成に努める」とした。

インバウンドの誘致増に向け議員は「東アジア主体の従来の取り組みに加え、欧米の富裕層に狙いを絞った戦略的な対策に取り組むべきではないか」と質問。知事は「現行の取り組みに加え、欧米の旅行博への出展や海外の旅行会社への働きかけなど欧米富裕層をターゲットとした戦略的取り組みも検討していく」と施策強化の方針を示した。

産業振興にAI活用を
企業誘致でも質問

産業振興では、各種産業分野に人工知能（AI）やモノのインターネット（IoT）の活用を求める声があった。議員は「AIやIoTを活用する新時代の農業ビジョンは」と質問。知事は「効率的な経営改善や環境制御、水管理の遠隔操作などの導入に取り組んでいる」と説明。「研究機関、民間企業とも連携し、農業が持続的に発展できるように努める」と答えた。

企業誘致について議員は「積極的に誘致したい産業はどの分野か」と知事の見解を求めた。知事は「既に一定の集積がある自動車関連産業や高度電子機械産業は今後も市場拡大が期待される。航空機産業、医療機器産業なども有望と考えている」と述べた。

厳しい水産業加工業対策は
原料調達資金対応引き出す

水産業振興で議員は「震災による風評被害や販路喪失に加え、漁獲高減少による原材料の高騰などにあえぐ水産業、加工業の現状認識、対応はどうか」と質問。知事は「特に水産加工業が厳しい。人手不足解消のための宿舎整備や生産性改善への支援を続ける。原料調達の資金面なども含め必要に応じ対策を検討していく」との考えを示した。

韓国の禁輸措置で厳しい状況が続くホヤについて議員は「PR、試食を首都圏に加え、米国でも行った。反応はどうか」と質問した。農林水産部長は「食味についての評価は高く、韓国人マーケットを中心に市場開拓の可能性は高い。関係者一丸で、引き続き取り組む」と手応えを口にした。

質問者と主な質問項目

○一般質問（16人）
▽仁田和廣（自由民主党・県民会議）4期目の抱負について、観光振興について、河川対策について、港湾の振興計画について▽遠藤いく子（日本共産党宮城県会議員団）知事選の論戦と少人数学級について、突然浮上した指定廃棄物処分について、女川原発再稼働について、被災者の生活再建について、富県戦略について、政府の方向性を先取り・追随する知事の姿勢について▽菅間進（無所属の会）上工下水一体化コンセッションについて、創造的復興の方向性について▽庄田圭佑（自由民主党・県民会議）消費者教育の強化について、スポーツ振興について
▽佐々木賢司（自由民主党・県民会議）三本木県有地の利活用策について、教育現場の諸課題について、スポーツ振興に関する諸課題について▽境恒春（みやぎ県民の声）災害公営住宅の家賃軽減について、気仙沼市が抱える復興の諸課題について、介護人材確保対策について、AIを活用した県の産業振興について、イラン・イラク地震への支援について▽深谷晃祐（自由民主党・県民会議）宮城県の健康施策推進について、特別史跡の保存と活用について▽三浦一敏（日本共産党宮城県会議員団）牡鹿半島・金華山の活性化と鳥獣対策について、放射能汚染廃棄物焼却問題等について、仙台松島道路の無料化について、上工下水一体みやぎ方式の問題点について、入札問題について
▽横山隆光（自由民主党・県民会議）村井知事の4期目について、スポーツ振興について、高齢者福祉施設について、宮城オルレについて、鳥獣被害対策について▽佐藤光樹（自由民主党・県民会議）企業版ふるさと納税について、産業政策について、若者のパスポート取得率について、塩釜地区における港湾及び道路事業について▽坂下賢（みやぎ県民の声）知事の政治姿勢について、再生可能エネルギー推進策について、水産業振興について、産業人材育成について、県道整備について▽安藤俊威（自由民主党・県民会議）村井県政の次なる産業振興戦略について
▽遠藤隼人（自由民主党・県民会議）我が県の観光行政について、県産品販路拡大について、安心安全な地域づくりについて▽天下みゆき（日本共産党宮城県会議員団）実効性ある原子力災害避難計画を求める、東日本大震災に係る災害援護資金について、国保県単位化・住民が払える保険料へ、無期転換ルール導入で雇用の安定を、宮城県の地方再生目指して▽藤倉知格（自由民主党・県民会議）慶長使節船復元船の今後のあり方について、県・仙台市の共同連携による統合ホールについて、指定廃棄物処理等の方針転換について▽横山のぼる（公明党県議団）ユニバーサルマナーの推進と障害者施策について、林道二口線の整備と秋保の観光振興について、高血圧予防について、在宅被災者施策について

委員会構成

議会運営委員会　定数12人
◎髙橋伸二（自民）　○村上智行（自民）　坂下　賢（県民の声）
境　恒春（県民の声）　福島かずえ（共産）　角野達也（共産）
伊藤和博（公明）　菅間　進（無所属の会）　細川雄一（自民）
安藤俊威（自民）　藤倉知格（自民）　中沢幸男（自民）

総務企画委員会　定数10人
◎佐藤光樹（自民）　○渡辺勝幸（自民）　藤原のりすけ（県民の声）
坂下　賢（県民の声）　岸田清実（社民）　角野達也（共産）
庄田圭佑（自民）　石川光次郎（自民）　安藤俊威（自民）
中沢幸男（自民）

環境生活農林水産委員会　定数10人
◎佐々木幸士（自民）○守屋守武（自民）　境　恒春（県民の声）
高橋　啓（県民の声）　内藤隆司（共産）　熊谷義彦（社民）
吉川寛康（21世紀）　只野九十九（自民）　齋藤正美（自民）
仁田和廣（自民）

保健福祉委員会　定数９人
◎坂下やすこ（県民の声）○横山隆光（自民）　横山のぼる（公明）
天下みゆき（共産）　福島かずえ（共産）　村上久仁（自民）
細川雄一（自民）　中山耕一（自民）　渡辺和喜（自民）

経済商工観光委員会　定数９人
◎佐々木喜藏（自民）○渡辺忠悦（無所属の会）　太田稔郎（県民の声）
三浦一敏（共産）　庄子賢一（公明）　髙橋宗也（自民）
菊地恵一（自民）　長谷川洋一（自民）　藤倉知格（自民）

建設企業委員会　定数10人
◎本木忠一（自民）　○遠藤いく子（共産）　すどう哲（県民の声）
佐々木功悦（県民の声）中島源陽（無所属）　遠藤伸幸（公明）
深谷晃祐（自民）　長谷川敦（自民）　髙橋伸二（自民）
畠山和純（自民）

文教警察委員会　定数10人
◎伊藤和博（公明）　○遠藤隼人（自民）　ゆさみゆき（県民の声）
中嶋　廉（共産）　大内真理（共産）　菅間　進（無所属の会）
佐々木賢司（自民）　村上智行（自民）　安部　孝（自民）
相沢光哉（自民）

広報委員会
◎吉川寛康（21世紀）○遠藤隼人（自民）　熊谷義彦（社民）
境　恒春（県民の声）　中嶋　廉（共産）　髙橋宗也（自民）
遠藤伸幸（公明）　渡辺忠悦（無所属の会）

11月定例会では、議会運営委員会や常任委員会等の委員が選任された。また、予算特別委員会のほか大震災復興調査特別委員会など五つの調査特別委員会が設置された。

※◎委員長　○副委員長

予算特別委員会　議員全員
◎石川光次郎（自民）○ゆさみゆき（県民の声）
12月８日に委員９人による総括質疑を行い、その後、各分科会での審査を経て、平成29年度宮城県一般会計補正予算を可決した。
●総括質疑者　村上智行（自民）髙橋啓（県民の声）佐々木功悦（県民の声）畠山和純（自民）中嶋廉（共産）庄子賢一（公明）熊谷義彦（社民）渡辺忠悦（無所属の会）吉川寛康（21世紀ク）

大震災復興調査特別委員会　定数15人
◎畠山和純（自民）　○熊谷義彦（社民）　藤原のりすけ（県民の声）
境　恒春（県民の声）　伊藤和博（公明）　福島かずえ（共産）
大内真理（共産）　菅間　進（無所属の会）　高橋宗也（自民）
守屋守武（自民）　村上智行（自民）　佐々木喜藏（自民）
佐藤光樹（自民）　本木忠一（自民）　長谷川洋一（自民）

いじめ・不登校等調査特別委員会　定数10人
◎吉川寛康（21世紀ク）○遠藤伸幸（公明）　佐々木幸士（自民）
ゆさみゆき（県民の声）天下みゆき（共産）　庄田圭佑（自民）
深谷晃祐（自民）　渡辺勝幸（自民）　長谷川敦（自民）
安藤俊威（自民）

スポーツ振興調査特別委員会　定数10人
◎藤倉知格（自民）　○角野達也（共産）　坂下　賢（県民の声）
髙橋　啓（県民の声）三浦一敏（共産）　渡辺忠悦（無所属の会）
横山隆光（自民）　髙橋伸二（自民）　石川光次郎（自民）
仁田和廣（自民）

総合観光戦略調査特別委員会　定数10人
◎渡辺和喜（自民）　○佐々木功悦（県民の声）坂下やすこ（県民の声）
遠藤いく子（共産）　内藤隆司（共産）　庄子賢一（公明）
遠藤隼人（自民）　菊地恵一（自民）　安部　孝（自民）
相沢光哉（自民）

障がい者福祉調査特別委員会　定数９人
◎太田稔郎（県民の声）　○佐々木賢司（自民）　中嶋　廉（共産）
横山のぼる（公明）　岸田清実（社民）　村上久仁（自民）
細川雄一（自民）　中山耕一（自民）　中沢幸男（自民）

＜会派名略称＞自由民主党・県民会議＝（自民）、みやぎ県民の声＝（県民の声）、日本共産党宮城県会議員団＝（共産）、公明党県議団＝（公明）、社民党県議団＝（社民）、無所属の会＝（無所属の会）、21世紀クラブ＝（21世紀ク）、無所属＝（無所属）

若者との意見交換会

より県民に開かれた議会を目指すとともに、若者の議会への理解と関心を高め、議会を身近に感じていただくことを目的に、「若者と宮城県議会議員との意見交換会」を平成29年10月24日に開催した。県議会庁舎を会場に、県内在住の若者17人が参加し、「宮城の未来・私の願い」をテーマに若者が意見を発表した後、議員と活発な意見交換を行った。意見交換の中で出された提言等は、県議会内で情報を共有し今後の議会活動に生かしていく。また、議会改革推進会議の最終報告書において、この意見交換会の結果を踏まえ、今後も県民等との意見交換会に取り組んでいくべきであるとの報告があった。

意見交換会に参加した若者と議員

副議長就任あいさつ

只野九十九副議長

11月定例会開会日に、只野九十九議員が副議長に選任され、就任のあいさつを行った。

只野副議長は「我が県に未曽有の被害をもたらした東日本大震災から６年８カ月が経過した。今年度は、宮城県震災復興計画における『再生期』の最終年度であり、来年度からの『発展期』を迎える重要な局面である。このような時期に副議長という重責を担うことに対し、改めて身の引き締まる思いがしている。今後は中島議長を支え、厳正公平な議会運営に努め、副議長の責務を全うしてまいりたいと思う。また、議会改革についても、これまでの流れをとめることなく、引き続き着実に推進してまいりたい」と語った。

県議会からのお知らせ

●ラウンジコンサート
県議会では、年４回の定例会開会日に「ラウンジコンサート」を開催しています。入場は自由ですので、ぜひご来場ください。
◇次回コンサートの開催予定
・日時／平成30年２月15日（木）午後０時15分～45分
・場所／県議会庁舎１階ラウンジ
・出演／柏崎祐子（ピアノ弾き語り）
◇コンサート出演者募集
・時期／平成30年６月、９月
・条件／無料出演（ピアノ以外の楽器は持ち込み）演奏ジャンル、プロ、アマチュアなど資格は問いません。
・締切／平成30年２月８日（木）（必着）
・詳細はホームページをご覧ください。

●傍聴のご案内
本会議、各委員会は手続きの上、傍聴できます。▽お問い合わせ先　宮城県議会事務局総務課ＴＥＬ022（211）3571

●ホームページのご案内
定例会の日程や会議録、議会中継等をご覧いただけます。
宮城県議会　検索

●議会中継のご案内　スマートフォンやタブレット端末で議会中継をご覧いただけるようになりました。ＱＲコードのアクセスはこちらから

「みやぎ県議会だより」への
ご意見・ご感想をお寄せください
宮城県議会事務局政務調査課
〒980－8570
仙台市青葉区本町３丁目８番１号
TEL022(211)3592　FAX022(211)3598
Eメール gtyosas@pref.miyagi.lg.jp